

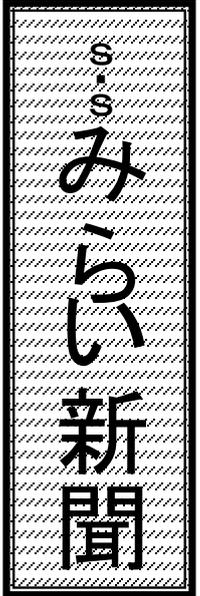
令和2年を迎えました



年越しそばを作りました。



皆さん美味しい！と頂きました。



第77号
2020年1月
発行責任者
新津 尚

右の写真は、七草がゆです。一連の正月行事の締めとして、1月7日の朝、「七草がゆ」を食べる習慣が日本にはあります。七草がゆは、その名の通り「春の七草」と呼ばれる具材をいれたお粥のことです。七草がゆを食べることで、1年間の無病息災への祈りを込める意味があります。

ご利用者の皆様に、無病息災の祈りを込めさせていただきました。



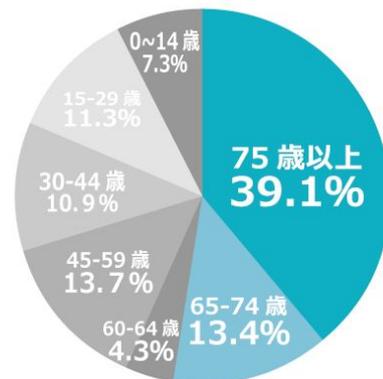
2020年はどんな年に？

子は本来「孳」という字で、種子の中に新しい生命がきざし始める状態を指します。2020年の「干」は「庚（かのえ）」です。「支」が「子」となり、2つを組み合わせると「庚子（かのえね）」が今年の干支です。「庚（かのえ）」の「か」は、「金」を意味します。「子」が水の性質です。「金」と「水」の組み合わせです。6年ぶりに干支の相生が良い年なるみたいです。ねずみ年は繁栄の年ですので、2020年は前向きで明るい年ですし、又、新しいことにチャレンジするのに適した年です。さて、皆さんは今年どんなことに挑戦していきますか？東京オリンピックもありますので、楽しみな年になりますね。



救急搬送が有料化？

2019年の救急搬送者の年代別内訳



総務省消防庁の調べによると、医療機関に搬送された高齢者数は、2018年の1年間で241万1,050人。救急車で病院に搬送するのにかかる費用は無料です。救急車が1回出動するのにかかる約4万5,000円は、全額が税金によってまかなわれています。救急車を有料化すべきとの考え方も登場しつつあります。2015年には、財務省から救急車の一部有料化の提案が出されました。お年寄りにとっては、大変な世の中になります。